

(財)日本ユニセフ協会佐賀県支部通信 第17号 2008年6月

事務所：佐賀市水ヶ江4丁目2-2 TEL&FAX 0952-28-2077

e-mail [unicef-saga@ams.odn.ne.jp](mailto:unicef-saga@ams.odn.ne.jp)

URL <http://www.2.odn.jp/unicef-saga/>

§ § § 支部通信はホームページでもご覧いただけます



梅雨入りしました。お元気でお過ごしでいらっしゃいますか？

連日の雨には気が滅入ることも多いですが、命をはぐくむ大切な雨です。

そして雨に濡れた紫陽花がとても美しい季節になりました。

街中の至る所でツバメの子育てが見られる季節になりました。サイクロン、地震、災害等、深刻な事件の報道のない日は一日もないような毎日ですが、必死に雛鳥に餌を運ぶ親ツバメの姿に世界中の親子の姿を重ねてしまう毎日です。

## ミャンマーサイクロン・中国大地震緊急募金にご協力ありがとうございます

地震発生から1ヶ月

ユニセフは子どもたちの心のケアと教育再開を支援しています！

【2008年6月10日 中国・北京発】

5月12日に四川省ブン川（ぶんせん）県発生した中国大地震から、一ヶ月。10日昼時点で死者**69,146**名、負傷者**374,072**名に上る未曾有の大惨事となりました。

中国史上初めて、被災者支援を最優先にした被災地再建活動が法律化され、「震災後の回復再建専門条令」が公布されました（8日）。

これに伴い国連災害管理チームも、一刻も早い被災地再建のために全ての国連支援機関の今後**6**ヶ月の復興計画を取りまとめています。

この1ヶ月、ユニセフが支援してきた被災した子どもの心のケアと、教育活動再開の支援の状況は次の通り。民生部とユニセフの調査で、孤児は**420**名、まだ肉親が見つからない子どもが**1,072**名いることが判明。



©UNICEF/ HQ08-0567/Adam

Dean

最大被災地のひとつ同済で自宅が崩壊した少女が、避難先の小学校でたたずんでいました

5日に被災者の心のケア支援関連団体を召集した会議を開催して情報を取りまとめたユニセフは、中国政府と連携して被災した子どもと女性の心のケア支援を継続して担当していきます。

中国教育当局は、新学期開始の9月1日までに、全ての被災した子どもたちが学校に戻ることができるよう、教育部主導で被災した学校再建計画を推進。ユニセフは、教育当局と協力して中国の教育復興支援のため国連共同の計画を準備。今年12月までに、被災した子どもが勉強できる環境に戻る支援、学校再建のための専門的支援を行う。震災前から着手してきた子どもに優しい学校と子どもの早期開発の導入支援も継続。国連共同の教育復興計画はユニセフからの拠出200万米ドル（約21億円）を含む総額244万米ドルに上る予定。



©UNICEF/ HQ08-0567/Adam Dean

6月1日の世界こどもの日に開催されたセレモニーで、倒壊した学校で亡くなった息子の遺影を抱える母親。

5月28日、ユニセフ北京事務所は、中国大震災後の子どもたちと女性の支援継続に必要な支援金額の総額1,340万米ドル（約14億1,000万円）を、国際社会に対して要請。10日現在までに、ユニセフは被災地に約840万米ドル（約9億円）相当の物資を提供しています。

ユニセフ・中国事務所は、中国大震災後の子どもたちと女性のための緊急支援、そして、今後継続が必要な支援を行うための資金として、総額で3,000万米ドル（約31億5,000万円）の支援が必要であると試算しています。ユニセフは、すでに通常活動資金も含めて1,660万米ドル（約17億4,000万円）を受け取っていますので、今後必要な支援金額の総額1,340万米ドル（約14億1,000万円）を、国際社会に対して要請しています。

震災発生後24時間で、ユニセフ・中国事務所は緊急事態支援に必要な物資（特にテントや布団など）の提供者を手配。ほぼ同時に、香港ユニセフ協会が、256,000米ドル（約2,700万円）の緊急資金提供が可能であるとの連絡をしました。それにより、ユニセフ・中国事務所は、5人用のテント800張り、布団20,000枚を速やかに発注することができました。国連機関の中でもっとも迅速な緊急支援物資の手配でした。その後、一週間でユニセフの緊急プログラム基金から250万米ドル（約2億6,000万円）の拠出が決まり、これにより、当面、他の緊急支援活動の資金に当てることができました。



©UNICEF/ HQ08-0567/Adam Dean

四川大学でワクチン接種を待つ子どもたち

今後2ヶ月間で必要となる支援項目は以下の通り。

（カッコ内は不足している資金額（米ドル）と予算における不足割合、5月28日時点）

保健と栄養（400万米ドル、45.98%）

教育（440万米ドル、51.16%）

安全な水と衛生設備（トイレ）（130万米ドル、39.39%）

避難所（不足資金なし）子どもの保護（210万米ドル、63.64%）

HIV/エイズ（35万米ドル、77.78%）

活動の管理と評価（70万米ドル、77.78%）

【資料提供：日本ユニセフ協会】

# サイクロンからひと月半「子ども達を学校へ！」

ユニセフの学校再開支援「子どもたちを学校へ！」報告

【2008年6月3日 ミャンマー・ヤンゴン発】

ミャンマーの学校では新学期が始まり、子どもたちの姿が教室に戻りました。しかし、サイクロン「ナルギス」の被害からちょうど1ヶ月、まだ損壊したり倒壊したりしたままの学校は**4,000**校にもものぼります。



©UNICEF Myanmar/200

ヤンゴン市北部の第11州立小学校の新学期に胸を膨らませる1年生の子どもたち。先生ひとりの授業に、**120**人以上もの生徒が集まっていました。

ユニセフと教育省、そして地域コミュニティーは力を合わせて学校に必要な支援物資を届けています。特に小学校に必要なものは、教材に勉強道具、そしてレクリエーション・キットです。

制服を着た子どもたちは、中には両親に付き添われて、ヤンゴン市内でももっとも深刻な被害を受けた北部地区の第**32**中学校に向かいました。子どもたちは、ごく当たり前の「日常」に胸を躍らせて、朝**6**時には学校に到着。始業の**1**時間も前です。



© UNICEF Myanmar/200

学校の再開は、サイクロン被災地の復興のために、重要な一歩です。

「勉強道具を届けてくれたユニセフに感謝します」



生徒や親の中には教室にベンチを運び入れたりして、学校再開の手伝いをしたひともありました。まだ出席登録中の子どももいますが教室では子どもたちがお互い友達をみつけたり、ベンチで授業が始まるのを待っていたりします。

「ユニセフは、修復に使う屋根用のトタン板**200**枚、学校キット（スクール・イン・ア・ボックス）**2**セットにレクリエーション・キットを提供してくれました。簡易トイレ建設のために追加で**5**枚の屋根用トタン板もいただきました。再開を支援してくれたユニセフには、とても感謝しています。」（学校長のドー・キン・チャンダー・アンさん）「こうした資材のおかげで、新学期に屋根の修復が間に合いました。そして、生徒のうち**95**パーセントは出席できていることがわかり、とても喜ばしいことです。」と、校長は語りました。

どのような災害においても、学校の再開が復興のための重要ステップであり指標です。子どもたちは特に、学校に通うというような当たり前の「日常」を取り戻すことで、大きな安心感を得られるのです。

「子どもたちが学校に戻れば、大きなストレスから開放されますし、子どもたちの生活の質が改善する重要な第一歩になるのです。」（ユニセフ・ミャンマー事務所ラメシュ・シュレスタ代表）

【資料提供：日本ユニセフ協会】

# 活動報告(2008年2月~6月)

活動日誌より、抜粋

## ユニセフ出前授業

2月27日(水) 大川市立木室小学校6年生

- ◆ 6年生の皆さんは、社会科「世界の人々とともに生きる」で国際協力の様子及び平和な国際社会の実現に努力している国際連合の働きについて学習しています。その中でユニセフの活動を具体的に調べています。
- ◆ 今日は、「食料・エネルギー分配ゲーム」等を通して、自分たちの暮らしが他国の人々とのつながりの上に成り立っていることについて考えました。さらには、様々な困難な状況下で暮らす自分と同じくらいの子どもたちの現状について話し合いました。



学習を終えて(後日寄せられた感想文から)

◆私はユニセフの話聞いてとてもビックリしました。今、こうして手紙を書いている間にも世界には何人もの子どもたちが亡くなっているということ、むりやりに武器を持たされ戦わされている子がいるということ…。普通に暮らしている私たちには考えられません。私は学校の委員会でユニセフ募金を集めました。でも、意味も知らずにただ「お金が集まればいい。」と思っていたけど、今日話を聞いて、ユニセフは世界中の子どもたちを助けるとても“大切なもの”だと分かりました。私には外国に行って困っている人を助けることはできないので周りの人と仲良くする、ゴミを捨てない、食べ物や電気のムダ使いはしないなど、自分でできることをやっていきたいです。色々教えていただいてありがとうございました。

- ◆私の将来の夢は、赤ちゃんが好きなので助産師になりたいです。でも、他の国の赤ちゃんを見ていると涙が出そうでした。私は、まず生まれて生きているということがどんなに幸せかがよく分かりました。これからは自分のできることをできる限りやっていきたいと思います。私たちにユニセフの活動を教えてくれてありがとうございました。



## ユニセフ募金活動

2月29日（金）上峰サティにて 上峰小学校6年生

- ◆ 上峰小学校6年1組の皆さんは（38名）、1月23日のユニセフ出前授業の後、学級で話し合っって募金活動を計画しました。

募金活動の目的は3つです。

- ①世界の子どもたちのことを多くの人々に知らせる。
- ②募金のお金で一人でも多くの子どもたちの命を救う。
- ③この募金活動をぼくたちの「はじめの一步」とする。

- ◆ 子どもたちは手づくりの募金箱や小さな子どもたちへの手づくりの「ありがとうカード」を持って、大きな声でお買い物の皆さんへ募金協力を呼びかけました。佐賀県支部のスタッフも応援に駆けつけました。地域の皆様のたくさんのご協力をいただき、**74,848**円もの募金が集まりました。

募金活動を終えて

- ◆ たくさんの人が募金してくれて、優しい人が多いんだなあと思った。うれしかった。



- ◆ 募金活動をして終わりではなく、これからも世界の子どもたちのことを忘れないでおこうと思った。

## 募金贈呈式

3月1日（土）北部児童センター

- ◆ 2月16日、大和町の川上、春日、春日北の三小学校4～6年生で作るきらめきジュニアボランティアスタッフと次世代の3年生からなる実行委員会が、子ども祭でバザーを行いました。
- ◆ その時の売り上げの一部 **15,401**円を「世界の子どもたちのために役立てて欲しい」とユニセフへ募金してくださいました。

## 愛の募金贈呈式

3月12日（水） 佐賀新聞社にて

- ◆ J A 佐賀県女性組織協議会では、昭和 54 年の国際児童年を契機に毎年「愛の募金」活動に取り組まれています。

「愛の募金」活動は今年度で 29 年になり、これまでユニセフと佐賀県内の各施設に、部員の皆様の善意を届けておられます。

- ◆ 今年も「子どもたちの幸せのために役立ててください。」と 171,179 円の募金を日本ユニセフ協会佐賀県支部中尾会長に贈呈されました。



## ユニセフパネル展

4月20日（日）第23回花みずき茶会にて

（佐賀市金立山いこいの広場）

- ◆ さわやかな緑の風がわたるなか、「第 23 回花みずき茶会～平和への祈りをこめて～」が開催されました。主宰の岩橋宗厚先生はユニセフや国際ソロプチミストを通して、困難な状況下にある子どもたちへの支援をしておられます。
- ◆ 会場にはチャリティー箱が置かれお客様がお気持ちを入れておられました。待合にはパネル[ユニセフの願い]を展示し、お客様にご覧いただきました。



## 募金・署名活動&ユニセフグッズの頒布

5月3日（土）今右衛門古陶磁美術館前にて（有田町赤絵町）

- ◆ 全国各地からのお客様 20 万人の人出で賑わう有田陶器市会場の中ほどにある今右衛門古陶磁美術館前で、募金活動と「なくそう！子どもポルノ」の署名活動、ユニセフグッズの頒布を行いました。
- ◆ 佐賀大学・西九州大学の学生さん、福岡市から応援にきてくださった方など総勢 19 名のボランティアさんが、真夏のように暑い中、大きな声でユニセフ募金や署名、グッズのご協力を呼びかけました。



募金を担当しました。たくさんの方が協力してくださって募金箱がだんだん重くなっていくのが嬉しかったです。有田陶器市も初めてでとても楽しかったです。

## 第15回 ユニセフチャリティーバザー

### ～ ミャンマーサイクロン緊急支援バザー ～

5月17日(土) 午後2時～3時 佐賀玉屋デパート南館西側アーケードにて

- ◆ 会員・支援者の皆様からお預かりした**500**点余りのバザー品を仕分けしお客様がお求め安く、なお且つ**1**円でも多くの募金になるようにしたいという難しい値付作業をボランティアさんたちは楽しくすすめてくださいました。
- ◆ 2時のオープン前からお客様が集まりバザーの始まりを待たれました。みんなでカウントダウンをしてバザーの開始です。
- ◆ 「ミャンマーではサイクロン発生前から**130**名のスタッフが常駐して子どもたちの為の活動をしていました。ユニセフ・ミャンマー事務所では日本人医師も活動しています。ユニセフの支援は、確実に子どもたちの元に届いています。皆様のご協力をお願いします！」とお客様に呼びかけました。
- ◆ バザー会場の一角では募金活動もしました。下校中の高校生も自転車を停めて募金協力をしてくださいました。
- ◆ バザー品を快くご提供くださった皆様、「HPで見ました。」「ユニセフニュースで見ました。」と、関東・関西などの遠方から送料をご負担してまで送ってくださった皆様、仕分け・値付け・販売など色々な形でお手伝いくださったボランティアの皆様、そしてお買い上げくださった多くのお客様、会場をご提供くださった佐賀玉屋デパート様、みなさまに心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。
- ◆ バザー・募金を合わせた総額は**178,540**円にもなり全額ミャンマーサイクロン緊急募金とさせていただきます。ありがとうございました。



## ユニセフ出前授業

神崎市放課後子ども教室ドリームパーク

テーマ：水から世界を考えよう

5月21日(火) 背振中央公民館にて

- ◆ 神崎市子どもの居場所づくり実行委員会では、国の委託を受けて神崎市内の7小学校や公民館で、放課後や週末、いろいろな体験活動、世代間交流ができる居場所づくりを進めています。
- ◆ 背振小学校の子どもたちは隣の背振中央公民館に集まって「水から世界を考えよう」というテーマで学習しました。「ユニセフと地球のともだち」のDVDや、世界の子どもたちがどのようにして水を手にいれているかを見た後、そばを流れる城原川に水汲み体験に行きました。



## ユニセフグッズの頒布&パネル展示

5月25日(日) 唐津市高齢者ふれあい会館 りふれ

第39回『青年の日』第14回チャリティーフェスティバル ～愛を集めよう 愛を届けよう～

## コープさが ユニセフ募金贈呈式

5月27日（火） 佐賀市文化会館にて



少しでも子ども達が  
幸せになってくれま  
すように、子どもたち  
に届けてください。

- ◆ コープさが第18回通常総代会にておいてユニセフ募金贈呈式が行われました。コープさが生協ではお年玉募金や店頭の募金箱に寄せられた**351,477**円の募金をユニセフ協会佐賀県支部太田記代子常務理事に手渡されました。

## (財)日本ユニセフ協会佐賀県支部役員会

5月31日（土）佐賀新聞社にて

第9回理事会・第5回評議員会を佐賀新聞社会議室において開催しました。2007年度の事業ならびに決算を承認していただき、2008年度の事業計画、予算、役員について協議され建設的なご意見をいただきました。また、第二部では3人の高校生によるユニセフ学習を糸口にした体験発表がなされ大変盛り上がりしました。



## ユニセフ パネル展・グッズ頒布&中国大地震緊急支援募金

6月1日（日）第24回鹿島ガタリンピック会場にて（鹿島市七浦海浜スポーツ公園）



- ◆有明海の干潟で繰り広げられるガタリンピックには**13**ヶ国からの参加があり、**2,000**名の選手がドロンコまみれになって競技を繰り広げました。会場には**35,000**人の来場者があり、大変賑わいました。

- ◆ ガタリンピック実行委員会では、中国四川大地震緊急募金に取り組んでくださいました。地元中学生をはじめ多くのボランティアの皆さんは、ユニセフの青い募金箱を持って会場をまわり、募金協力を呼びかけました。来場者の皆さまからご協力いただいた募金は総額**105,044**円にもなりました。ご支援ご協力いただいた全ての皆さまに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

## ユニセフパネル展、グッズ頒布&中国大地震緊急支援募金

### 国際ソロプチミスト有田認証 20 周年記念講演会

6月2日（月）「アグネス・チャン講演会」会場にて（焱の博記念堂にて）

- ◆ 陶都有田の焱の博記念堂にて開催された、国際ソロプチミスト有田認証 20 周年記念講演会では、日本ユニセフ協会大使アグネス・チャン氏の「小さな命からの伝言」の講演がありました。
- ◆ 講演が終わるとたくさんの皆様がユニセフのコーナーにおいでくださり、グッズや募金のご協力、「なくそう！子どもポルノ」の署名にご協力くださいました。
- ◆ 中国大地震緊急支援募金には **83,325** 円ものご協力をいただきました。関係者の皆さま、ご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



グッズ頒布コーナー



中国大地震募金コーナー

### Let's unicef ⑪



世界の子どもたちが皆幸せに  
ボランティア 佐竹美津子 (82 歳)

私がユニセフを意識し始めたのは娘たちを嫁がせ一息ついた頃でした。中国の地で生まれ育った私は、地域の子どもたちが学校にも行けずに物乞いをしている姿を常に目にしては心を痛めて、大人になったら孤児院や養老院を建てようと思っていました。

現代の平和日本の、物に恵まれた子ども達に比べて、世界には目を覆うほどの困難な状況の下にある子ども達は何億人もいます。心ばかりの僅かな応援しかできないけれど、生涯応援していきたいと思っています。

昨年、私の住む地域で自主活動として後期高齢者のサロンを立ち上げました。自立生活を保ち心豊かに前向きな余生を目指しています。会の皆さんにユニセフの活動について説明しました。会の皆さんは、ハンド・イン・ハンドやミャンマー災害募金にも快く応じてくださいました。

被災の惨状はテレビなどで知っていても、不便な土地柄、郵便局まで振り込みに行くことは容易ではありません。私の家族から出過ぎたこととたしなめられたけど、心が納まりませんでした。

また、小学生への講話を要請され「戦争と平和」の話をさせていただく中でユニセフの話も盛り込んでいます。足腰は弱ってもまだまだ口承はできるかもと頑張って語り継いでいきたいと思うこの頃です。



# これからの予定

## ユニセフパネル展&ユニセフすごろく

第7回親子交流会 in プラザ

6月29日(日) 10:00~15:00 iスクエアにて

- \* テーマ 「あした天気にな〜れ! in 市民活動プラザ第7回親子交流会」  
ユニセフのブースでは、パネルの展示、「ユニセフすごろく」を予定しています。  
お楽しみ福袋&お楽しみくじあり!! 皆様のご参加をお待ちしております。
- \* ボランティアも募集中!

## 募金活動・ユニセフパネル展&ユニセフグッズ頒布

第3回 小城市ふるさとまつり

7月6日(日) 9:00~16:00 小城市芦刈庁舎南駐車場にて

- \* ミャンマーサイクロン&中国地震緊急支援募金活動をします。
- \* ボランティアも募集中!

## ユニセフパネル展&グッズ頒布

佐賀県生協連「平和のつどい」

7月25日(金) 12:00~15:00 アバンセホール ホワイエにて

- \* 当日は会場において、折り鶴コーナー、原爆パネル展、生協の平和活動紹介があり、13:05からはアニメ「ガラスのうさぎ」の上映もあります。

## ユニセフパネル展・ユニセフグッズ頒布&ユニセフすごろく

日本生協連

8月8日(金) 10:00~16:00 長崎市民会館にて

- \* 「2008 ピースアクション in 長崎」の会場、「We Love Peace! みんなのひろば」においてパネル展示、お話の読み語り、ユニセフすごろくなどをします。
- \* 現地ボランティア募集中!

## ☆☆☆ ユニセフのつどい ☆☆☆

8月10日(日) 18:00~20:00 旧古賀銀行(浪漫座)にて

*真夏の佐賀のアフリカの夜、トーク エンド ライブ !!*

- \* 「アフリカの子どもたちの、今」を知り、自分にできることを考え、また、アフリカの鼓動「アフリカンドラム」の響きをご一緒に楽しみませんか?
- \* 詳しくは同封のチラシをご覧ください。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

# ご支援・ご協力ありがとうございました

木室小学校様 ローソン佐大前店 上峰小学校様 北部児童センター様 えんぴつ館様  
JA 佐賀県女性組織協議会様 ユニセフを支援する会「母子草」様 大溝小学校様 吉原内科様  
川上小学校有缶クラブ様 スーパーモリナガ様 佐賀県立鳥栖商業高等学校様 唐津第一中学校様  
佐賀リハビリテーション病院様 コープさが生活協同組合様 田口電機工業株式会社様 中原小学校様  
ぬくもりの会様 花みずき茶会様 本庄公民館茶道教室様 西村会計事務所様 黒川カイセイ薬局様  
さが市民活動プラザ様 三池・迎合同司法書士事務所様 中央クリニック様 諸富北小学校様  
ワークステーション SAGA 様 雇用能力機構佐賀センター様 いのちの電話様 道海島小学校様  
大溝小学校様 カイセイ薬局荒江店様 野中商事様 佐大スーパーネット様 リフレイン様  
三又中学校様 大塚製薬佐賀工場様 佐賀県高等学校家庭クラブ連盟様 佐賀県交際交流協会様  
佐賀大学教育学部様 佐賀大学医学部看護科様 うめづ歯科様 杉の子文庫様 本庄公民館様  
住友生命保険相互会社佐賀支社様 佐賀銀行様 峰松歯科様 佐賀保護観察所様 三日月小学校様  
佐賀県学校生活協同組合様 国際ソロプチミスト佐賀西部様 国際ソロプチミスト佐賀有明様  
国際ソロプチミスト有田様 ボランティアキルターズピースワーク様  
国際ソロプチミスト佐賀フレンズ様 鹿島ガタリンピック実行委員会様

(2008年2月8日～6月16日)

いろいろな形でのご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。この欄での紹介は企業・団体等のみにさせて  
いただいております。個人の皆様からもたくさんのご支援をいただいておりますが、平成17年からの  
「個人情報の保護に関する法律」施行に伴い、個人の方のお名前の掲載は控えさせていただきます。

## ボランティア募集中

日本ユニセフ協会佐賀県支部では活動のお手伝いをしていただ  
ける方を募集中です。

「カード頒布での出会いは楽しいネ♪」

「パソコン入力ならまかせて」

「子ども達に話すのが好き！」「イベント企画・運営はワクワク！」

「広報誌・チラシ作りは面白そう……」「切手の整理も夢中になるわ」などなど……

いろんな形でのボランティア募集中です。まずは事務所までご連絡を♪

電話&FAX 0952-28-2077

e-mail unicef-saga@ams.odn.ne.jp



# 会員募集中

## ユニセフ会員

として

世界の子どもたちを応援してください

### 会員ってなあに？

ユニセフ日本委員会として、日本国内での募金活動、広報およびアドボカシー(政策提言)活動を担う日本ユニセフ協会を、年会費によってご支援いただく方法です。会員登録をしていただき、日本ユニセフ協会の機関誌やさまざまなユニセフの資料を通して、世界の子どもたちのおかれている状況について理解を深めていただくことができます。

既に会員としてご協力いただいている皆様には、更に会員の輪を広げるためにお力添えいただきますようよろしくお願いいたします。



### 会員の種類と年会費

- \* 一般会員 年会費 **5,000** 円
- \* 学生会員 年会費 **2,000** 円
- \* 団体会員 年会費 **100,000** 円

お問合せ先

(財)日本ユニセフ協会佐賀県支部

TEL&FAX 0952-28-2077

E-mail [unicef-saga@ams.odn.ne.jp](mailto:unicef-saga@ams.odn.ne.jp)